



## 専門・認定看護師の紹介



### がん看護専門看護師



がん看護専門看護師  
杉江 礼子

2005 年より緩和ケア認定看護師として活動してきましたが、がん患者様・ご家族様により広い視野から専門性の高い支援を行えるように、修士課程を経て 2011 年にがん看護専門看護師の認定を受けました。現在、緩和ケア病棟での看護実践、緩和ケアチームとして他職種と連携しながら患者様の心身のつらさを和らげる支援、緩和ケア外来での緩和ケア医師との面談・緩和ケア病棟入院予約のサポート、看護専門外来での相談（理学療法士と協働しリンパ浮腫へのケアを含む）、院内での教育などを担当させていただいています。緩和ケアは、病気の時期に関わらず、がんを抱えていても自分らしく生活の質を保ちながら過ごすことへの様々な支援です。院外の医療者とも連携充実を図り、地域で暮らすがん患者様・ご家族様がその人らしく過ごせるように、症状緩和や、様々な状況に向き合う方法を見つけるお手伝いができればと思っています。当院では、地域医療連携室や看護専門外来での相談、緩和ケア外来、入院病棟での緩和ケアチームによるサポート、緩和ケア病棟など、その時々状況に応じた支援体制があります。皆様のお役に立てる身近な存在になれるよう努めてまいりますので、どうぞお気軽にご相談下さい。

### 皮膚・排泄ケア認定看護師



皮膚・排泄ケア認定看護師  
大森 陽子

2007 年より当院で皮膚・排泄ケア認定看護師として働いております。院内では ストーマ・褥瘡・創傷及び失禁に伴い生じる問題に対しアセスメント及びスキンケアの指導、排泄障害を持つ個人に適した生活指導などを行っています。

褥瘡管理者として、褥瘡がある患者様に、体圧分散寝具の選択や悪化予防対策や褥瘡対策チームで回診を行い、褥瘡予防・治療に努めています。

反対に褥瘡があり地域へ戻られる場合には、できる限り患者様の「現在」が分かる様に地域の医療・介護機関と連携し情報交換を行い、再発や悪化予防に努めたいと考えています。地域と急性期病院が連携し、予防から取り組む褥瘡対策を一緒に考えて行けたらと考えています。

2012年度の診療報酬改定では、皮膚・排泄ケア認定看護師が訪問看護師とともに患者宅を訪問し、褥瘡・ストーマケアを提供することが可能となりました。心身ともに安心して在宅生活が送れ、ご家族へのサポートも行えるように活動しています。

看護専門外来のひとつである「スキンケア外来」では①ストーマ保有者の皮膚や装具、生活、②褥瘡予防やケア方法、③失禁、オムツによる皮膚障害の予防と対策などに関する相談をお受けしております（一部医師と協働し、指導料などが必要になります）。

患者様とご家族が、安心して院内でも在宅でも過ごしていただけるよう、今後もより一層連携に努めてまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## がん化学療法看護認定看護師



がん化学療法看護認定看護師

奥野 あす香

がん化学療法看護認定看護師の資格を2011年に取得し、外来通院治療室での業務とともに安全・確実にがん化学療法を施行するためのスタッフ指導、マニュアル整備を行っています。

がん化学療法分野は、新薬の開発や支持療法の充実など日々進化しています。また、DPC導入に伴い、治療の場は入院から外来へと移行しつつあります。

当院には「外来通院治療室」が設置されており、外来患者様を対象に病床数7床で、がん化学療法・ホルモン療法・免疫療法を行っています。患者様は社会生活を送りながら治療を受けることから、日常生活における注意点や副作用症状の対策や治療継続の相談対応、電話相談などを行い、患者様が安心してがん化学療法を受けられる環境の提供に努めています。

患者様の生活基盤は地域であることから、地域医療の中心的な役割である“かかりつけ医”と当院が連携を図り患者様・ご家族様を支援することで、患者様は安心してがん化学療法に臨むことができると考えます。今後もかかりつけ医の先生方とともにがん化学療法が必要な患者様の支援を行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

## 集中ケア認定看護師



集中ケア認定看護師

山田 親代

集中ケア認定看護師の認定を2008年に取得しました。現在、集中治療室（ICU）で3交代勤務しています。

集中治療室（ICU）に入室される「開心術」「5大がん手術」はじめ様々な手術後の患者様や、急性かつ重篤な状況にある患者さんの状態を的確に把握し、日常生活援助を行っています。患者さんが日常生活に戻られた後の障害ができるだけ最小限になるように早期からリハビリテーションなどの援助も行っています。また患者さんだけでなく、急性期で状態が不安定な患者さんのご家族も心理的に大きな不安や心配を抱えておられます。そのため、ご家族に対しても情報提供や相談などの方法で支援しています。

ICUでの看護実践とともに同僚看護職員に対しても、実践モデルとなるよう努め、マニュアル整備や指導を行っています。ICUのみならず院内でも「病態アセスメント」「実践能力の向上」に向け勉強会の企画、実施なども行っていますのでよろしければご参加ください。

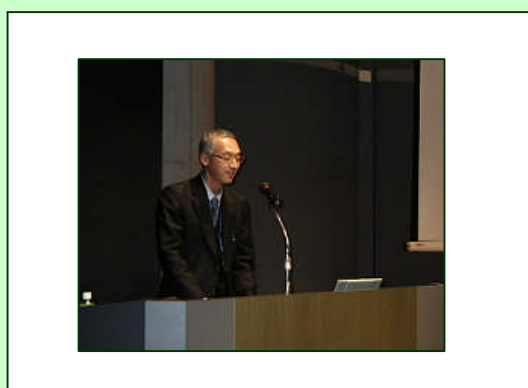
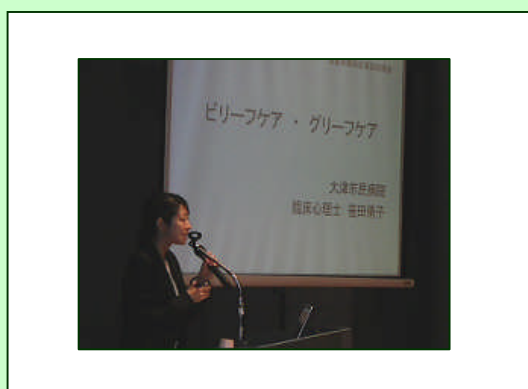
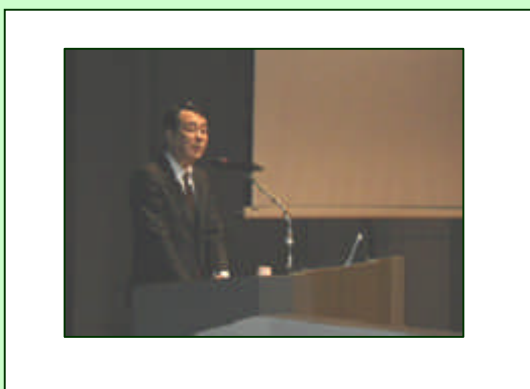
毎週火曜日には他職種（医師、臨床工学技師、理学療法士、薬剤師、歯科衛生士）と連携して呼吸ケアチーム（RST）の一員として、一般病棟をラウンドしています。病棟におられる人工呼吸器を装着した患者さんが安全で安楽な呼吸管理を受けられるようスタッフの相談に応じたり、問題解決に向け一緒に考えたりしています。在宅における呼吸管理などお役に立てるように勤めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



# 滋賀県難病従事者研修会を開催しました。

～滋賀県難病医療連携協議会事務局（大津市民病院）～

12月4日に栗東芸術文化会館さくらにおいて「神経難病従事者研修会」を開催しました。  
滋賀医科大学 家庭医学講座 非常勤講師 田村 祐樹氏、大津市民病院 臨床心理士 笹田 侑子氏を講師にお招きし「難病医療、看護、介護に携わる方のセルフケア」をテーマとしたお話しをしていただきました。介護支援専門員をはじめ、医師、看護師などの方が出席されました。



## ◎NST 勉強会

- ・ 1月24日(木) 17時30分～19時00分
  - ・ 9階A・B会議室
  - ・ 「褥瘡患者の栄養療法」
  - ・ 皮膚科専攻医:金久 史尚
- ※筆記用具・電卓をお持ちください。

## ◎平成24年度 第2回 神経難病従事者研修会

- ・ 2月16日(土) 9時30分～16時00分
- ・ 長浜赤十字病院 新2号館5階 会議室
- ・ 対象:介護支援専門員、介護老人保健施設職員、訪問看護ステーション職員
- ・ 問い合わせ・申し込み先

滋賀県難病医療連携協議会事務局

電話:077-522-5055 FAX:077-522-0192

旧年中は大変お世話になりました。  
新しい年を室一同元気に迎えることが出来ました。  
本年もよろしくお祈りします。  
♥12/29～1/3 までお休みをいただきました。  
ご迷惑をおかけしました。♥

大津市民病院地域医療連携室

TEL:077-526-8192

FAX:077-522-0192

